

地域でみんながふれあい支えあって自分らしく安心して暮らせるまちづくり

# けせんぬま 社協だより

№ 115 2025.5.1

発行 / 社会福祉法人  
気仙沼市社会福祉協議会



気仙沼市東新城 2-1-2  
TEL 0226-22-0709  
FAX 0226-22-4467



## 支え合いの輪を広げ、安心の地域へ



2025.3.7  
お互いさまで支え合う地域づくりを考える講演会



2025.2.13  
地域支え合いフォーラム



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、支え合いの大切さを学び考える機会として開催しました。これからも、地域のつながりを深め、誰もが支え合えるまちづくりをみなさんと共に進めていきます。





## 新年度のご挨拶

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

会長 村上俊一

日頃より気仙沼市社会福祉協議会の事業並びに活動に対しまして、ご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

また、2月26日に発生しました、大船渡市の山林火災ではこれまでにない範囲で延焼し、家屋や財産が失われ、多くの方々が避難を余儀なくされており、その被害や悲しみは計り知れません。被害にあわれた方々には謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、本会は住民参加による地域福祉活動の推進と福祉の向上を図ることを目的としている、公共性の高い非営利の民間団体であり、地域福祉推進のため気仙沼市と共同により、第4期気仙沼市地域福祉活動計画・気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画を策定し事業推進に取り組んでまいりました。令和6年度は新型コロナウイルス感染症の影響により見送ってまいりました多くの事業を実施し、地域福祉推進フォーラムや本吉地域福祉まつり等のイベントを通して、人と人をつなぎながら地域福祉を身近に感じ考える機会を作ることができました。今後も普段からの社協活動におきまして、より一層市民の皆様にご理解が得られるよう改善と工夫をしながら、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすことができる地域づくりを推進してまいります。

令和7年度におきましても、基本理念である「地域でみんながふれあい支えあつて、自分らしく安心して暮らせるまちづくり」を実現すべく、計画の進捗状況の点検・評価・見直しを行いながら、取り組んでまいります。

本年度も皆様のご理解をいただき、役員が社会福祉協議会としての使命を自覚し、地域福祉の推進に努めてまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会 令和7年度事業計画

令和7年3月に開催されました理事会及び評議員会におきまして、令和7年度事業計画について承認をいただき、今年度は「組織」「地域福祉活動」「福祉サービス」の3つを重点目標に掲げ、次ページに記載されている各事業に取り組んでまいりますので、地域の皆様のご支援ご協力について何卒よろしくお願いたします。

### （重点目標）

- 1 法人の組織力向上による  
基盤強化
- 2 地域福祉活動の推進に  
向けた取り組み
- 3 介護保険事業・障害者福祉  
サービス事業の質の向上と  
運営



# 主な事業内容

## 1 法人運営事業

- ・理事会、評議員会、監査会の開催
- ・苦情解決責任者及び第三者委員会の設置
- ・評議員選任・解任委員会の開催
- ・各種委員会の開催

## 2 地域福祉事業

- ・地域福祉活動計画の推進
- ・地区社協活動への支援
- ・ふれあい相談センターの運営
- ・小地域福祉活動の推進
- ・地域包括ケアシステムの構築推進
- ・広報誌、ホームページ、SNSによる情報提供

## 3 ボランティアセンターの運営

- ・ボランティア活動の相談、調整事業
- ・各種ボランティア養成講座、研修会の開催
- ・ボランティア交流会の開催
- ・ボランティア保険等の活動支援

## 4 福祉教育

- ・福祉教育活動補助金交付事業の実施
- ・福祉教育関係者情報交換会
- ・福祉教育推進にかかる職員派遣等
- ・敬老作文コンクール事業

## 5 資金貸付事業

- ・生活福祉資金貸付事業
- ・生活安定資金貸付事業

## 6 援護活動

- ・火災による被災世帯に対する見舞金等の支給事業
- ・歳末助け合い募金配分事業
- ・交通・海難児等に対する就学支援費の支給事業

## 7 生活支援・障害福祉事業

- (1) 在宅障がい者福祉事業
  - ・障がい者福祉の推進（交流会、録音・点字サービス等）
  - ・ガイドヘルパー派遣事業
- (2) 指定障害福祉サービス事業
  - ・多機能型事業所の運営
  - ・生活介護事業
  - ・共同生活援助事業



障がい者福祉の推進（交流会）

## 8 在宅福祉事業

- (1) 在宅福祉事業
  - ・移送サービス事業
  - ・在宅ふれあい型交流事業に対する補助金交付事業
  - ・安否確認訪問サービス事業
  - ・介護機器貸出事業
- (2) 指定介護保険事業
  - ・居宅介護支援事業
  - ・訪問介護事業
  - ・訪問入浴介護事業
  - ・地域密着型通所介護事業
  - ・指定通所介護事業
  - ・認知症対応型共同生活介護事業
  - ・福祉用具貸与事業
  - ・特定福祉用具販売事業
- (3) 地域生活支援事業
  - ・訪問入浴事業



視覚に障がいのある方へのボランティア養成講座

## 9 日常生活自立支援事業

- ・まもりーぶ事業

## 10 市受託事業

- ・生活支援体制整備事業
- ・生活援助員（LSA）事業（西地区高齢者相談室）

## 11 団体事務

- ・地域包括支援センター運営事業（鹿折・唐桑地域、本吉地域）
- ・配食サービス事業
- ・生きがい活動支援通所事業
- ・家族介護者教室事業
- ・気仙沼市市民福祉センター管理運営
- ・気仙沼市唐桑保健福祉センター管理運営
- ・気仙沼市福祉の里野外施設管理運営
- ・気仙沼市共同募金委員会
- ・気仙沼市民生委員児童委員協議会
- ・本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会
- ・気仙沼市ボランティア連絡会
- ・気仙沼市老人クラブ連合会
- ・本吉町老人クラブ連合会
- ・本吉地区遺族会
- ・気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会



本吉地域福祉まつり



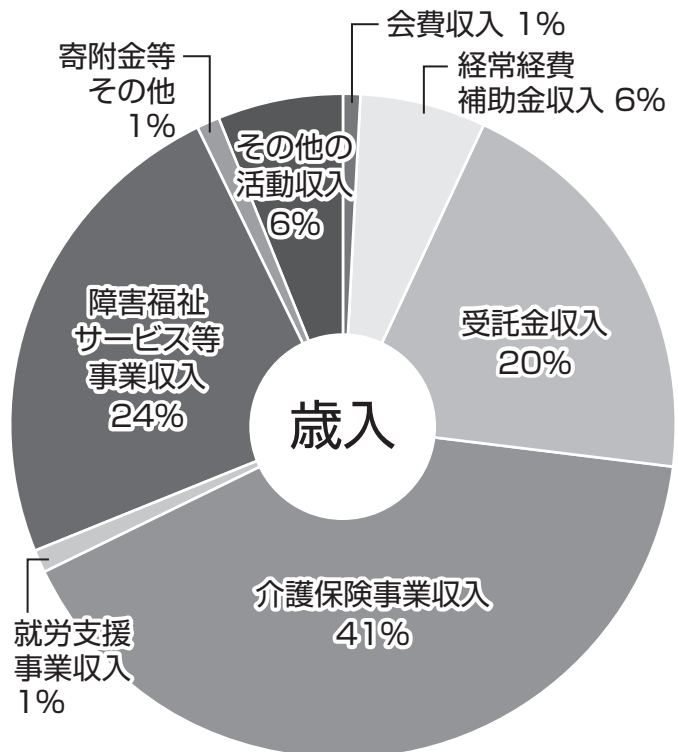
## 社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会 令和7年度 資金収支予算

(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日

### 【歳入】

(単位：円)

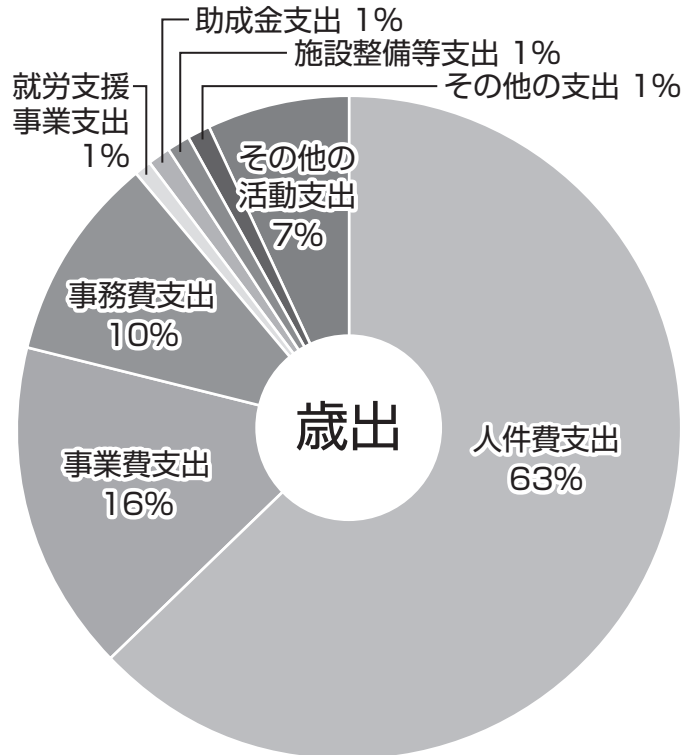
会 費 収 入	8,093,000
経常経費補助金収入	48,481,000
受 託 金 収 入	171,499,000
介護保険事業収入	341,320,000
就労支援事業収入	6,738,000
障害福祉サービス等事業収入	207,375,000
寄 附 金 等 其 他	6,976,000
その他の活動収入	41,432,000
収 入 合 計	831,914,000



### 【歳出】

(単位：円)

人 件 費 支 出	551,877,000
事 業 費 支 出	140,367,000
事 務 費 支 出	83,075,000
就労支援事業支出	6,738,000
助 成 金 支 出	5,372,000
其 他 の 支 出	2,171,000
施設整備等支出	10,624,000
その他の活動支出	47,068,000
支 出 合 計	847,292,000
当期資金収支差額 (収入 - 支出)	△ 15,378,000



当期資金収支差額 + 前期末支払資金残高 = 当期末支払資金残高  
 △15,378,000円 + 200,743,534円 = 185,365,534円

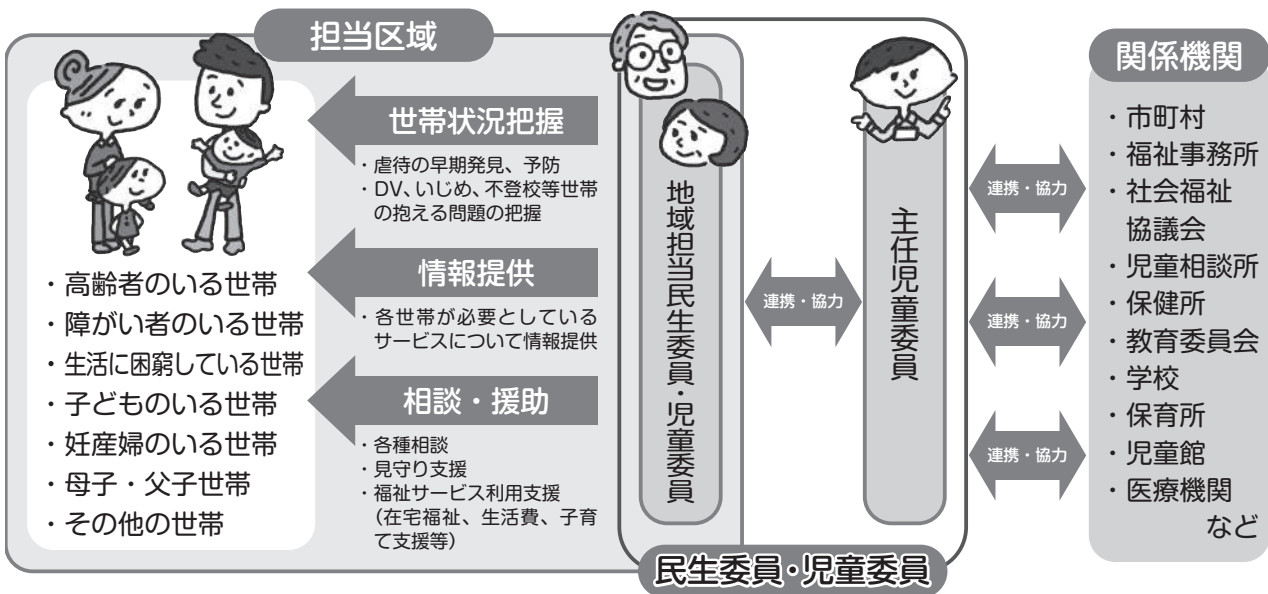




## あなたの身近な相談相手 ～民生委員・児童委員～

地域社会のつながりが薄れつつある今、子育てや介護の悩みを抱える方、障がいのある方や高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。こうした中、民生委員・児童委員は地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役として活動しています。また、任期は3年で、今期は令和4年12月1日～令和7年11月30日までとなっています。

### 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動について



### 5月12日～18日は活動強化週間

【パネル展示】 5/9～18 ワン・テン庁舎2階 情報プラザ

【街頭PR活動】 5/12 10:00～12:00

- ・イオン気仙沼店・ビッグハウスししおり店
- ・マイヤ本吉はまなす店

### 安否確認訪問サービス

気仙沼市社協では、宮城中央ヤクルト販売(株)さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする高齢者世帯へ乳酸菌飲料の配達を通じた声掛け訪問による安否確認を行っています。



#### ○利用できる方

気仙沼市内にお住まいの次の世帯

- ①虚弱な一人暮らしの世帯 (※一部の地域ではご利用いただけません)
- ②虚弱な高齢者のみの世帯

○訪問回数 月・水・金の週1～3回

#### ○内容

- ・訪問時に「ヤクルト400」1本を対面でお渡しすることで、安否確認を行います。
- ・通院等で不在にする場合は予めのご連絡をお願いします。また、不在の際に商品を置くことはいたしません。
- ・安否の確認が取れない場合には、緊急連絡先や関係機関の方へご連絡いたします。
- ・既にヤクルトの配達を利用している方については、対象外となる場合があります。

○お問合せ 気仙沼市社会福祉協議会  
電話 22-0709





## 唐桑地区社会福祉協議会

### 「ふくし座談会～みんなで話そう！みんなで考えよう！」を開催しました

昨年度の住民懇談会で得られた成果をふまえ、地域の皆さんともっと気軽に話し合える場として、「ふくし座談会～みんなで話そう！みんなで考えよう！」を開催しました。

今回は、唐桑旧小学区の「小原木」「唐桑」「中井」の3つの地区に分かれ、「支え合い」をテーマにそれぞれの地域で座談会を行いました。

座談会では、地域の現状やこれからの課題について、たくさんの意見が出されました。

#### 地域の声がたくさん集まりました ～3地区で共通して聞かれた意見～

今回の「ふくし座談会」では、3つの地区（小原木・唐桑・中井）で、地域のことについてたくさんの声が寄せられました。共通して多かった意見は、次のようなものでした。

- ・一人暮らしや、高齢のご夫婦だけで暮らすお宅が増えている
- ・お互いに助け合いたいけれど、支える人も高齢になってきている
- ・子どもが少なくなってきた
- ・若い世代の様子がなかなかわからない
- ・車の免許を返した後、移動手段がなくて困る
- ・地域の行事が中止になったり、小さくなってきている

日々の暮らしや地域のつながりに関わる大切な声がたくさん出されました。

参加された方からは、「こうやって話し合える機会があるのは、とてもいいことだね」といった感想も多く聞かれ、今後もこうした座談会を続けていくことの大切さを感じました。



## 地域でグループで 地域での孤立に気づき、つながり、見守る

### 「つながりワーカー」養成講座 開催しませんか？

昨年度から宮城県共同募金会の事業助成を受けて、日常生活を支える仕組みづくりを進めるための1つのとして、つながりワーカー養成講座を実施しています。

地域の人たちとつながり、支え合うために必要な「気づく」「つながる」「つなげる」「見守る」ポイントなどについて考え合う講座内容となっています。昨年度は5箇所延べ145人の方に参加いただき、地域でのつながりづくりに一役買っています。

地域で、自治会やグループ単位でも開催可能ですので、ぜひお気軽にお問い合わせください。





# はじめよう! ひろげよう! 支え合いの地域づくり

## 気仙沼市生活支援体制整備事業

### 地域のお宝を紹介します!



## 食べるなら一緒にいいね。笑顔広がる“共食”<sup>きょうしょく</sup>パワー!

### 階上地区 森前林クッキングサークル

月に1回の定期活動を重ね、まもなく通算60回を迎えようとしています。

活動では、各班が役割を分担し、協力しながら手際よく調理が進められています。できあがった料理をみんなで食べることは、孤食を減らし、会員同士の絆を深める大きな機会となっています。今後は、地域の食に関する課題にも取り組むなど、さらに活動の幅が広がっていくことが期待される、活気あふれるサークルです。



### 西地区 交流サロンひまわり



民生委員と有志が集まって話し合いを重ね、平成30年度からお茶会をスタートさせました。現在は週1回開催しており、月ごとに当番を代えながら、ラジオ体操や季節行事など様々な活動をしています。手づくりのお菓子や惣菜を持ち寄りみんなで食べるのが楽しみの一つです。一人暮らしの方が多いためですが、サロンに参加することが孤食の解消や生きがいづくり、心身の健康を保つ機会となっています。



共食（きょうしょく）とは、家族や友人と一緒に食卓を囲んで食事をすることです。心身ともに健康的な生活を送ることにつながります。

- (効果) ・食事が楽しく美味しさが倍増する
- ・会話から知識や話題が増える
- ・バランスの良い食事を摂ることができる



## あなたの力が地域を守る

# 災害ボランティアセンター設置・準備研修を開催しました

3月1日、気仙沼市民福祉センター「やすらぎ」を会場に災害ボランティアセンター設置・準備研修を開催し、防災に関心のある方など24名が参加されました。

ウェザーハート災害福祉事務所の千川原公彦氏を講師に迎え、災害ボランティアセンターの機能と役割についての講話のほか、ボランティアセンターの受付体験や意見交換を行いました。

今回は、地区社協や民生委員、ボランティアなどに加え、気仙沼青年会議所（気仙沼JC）の方々にもご参加いただきました。2021年に宮城県社会福祉協議会と日本青年会議所東北地区宮城ブロックが災害協定を締結しており、平時からの顔の見える関係づくりを進めています。

今後も災害時の支援体制づくりを地域住民のみなさんと考え実践するための講座を開催しますので、次回はより多くの皆さんの参加をお待ちしております。



## 令和7年度 災害ボランティア事前登録のご案内

宮城県社会福祉協議会では、平常時にボランティアの事前登録をお願いし、県内で災害が発生した際には、災害ボランティアセンターからボランティア活動に関するご案内をメールにてお送りする取り組みを行っております。

このたび、**令和7年度事前登録の募集を開始いたしましたので**、お知らせいたします。

登録用QRコード



<https://x.gd/VcuYG>

検索